



## 異国からの旅人 羽を休める

今年は暖かい日が続いたためか、白鳥の飛来数は例年より少なめ。犀川白鳥湖の白鳥飛来数は12月7日現在で33羽。飛来のピークは1月末から2月となりそうです。



堀金烏川の小林健男さんは白づくりに携わり30年。白づくりは餅つきを前にしたこの時期が最も忙しく、全国各地、時には海外から受注があります。出来上がった白の深さは20センチほどで、入り口より中の方が広い「返し彫り」。1つ作るのに丸2日かけて丁寧に仕上げます。

安曇野から全国へ



## 樹木の冬囲い

穂高温泉郷の旅館で庭木をワラなどで包む冬囲いを職人さんが丹念に作っていました。雪囲いは防寒・防虫のため施されますが、むしろ、冬の風情を楽しむために施す人が多いとのこと。

## ダルマも待機中

豊科の真々部にある金龍寺は通称「ダルマ寺」。寺には、パンダダルマ、風水ダルマなど個性的なダルマがずらりと並んでいます。ダルマは拳法で有名な少林寺で、9年間座禅をし、この容姿を形どったのが、現在の張り子ダルマといわれています。



## お菜洗いじゃぶじゃぶ

豊科の重柳にある「安曇野わさび田湧き水群・憩いの池」。今年は適度に霜が降りたため、葉が柔らかく、おいしい野沢菜漬けができそうです。



# 安曇野に

# 冬

# が来た。

初冬から仲冬へ。安曇野に本格的な冬がやって来ました。今月号では、市内の冬支度の様子、冬の備えなどの話題をまとめてお伝えします。

